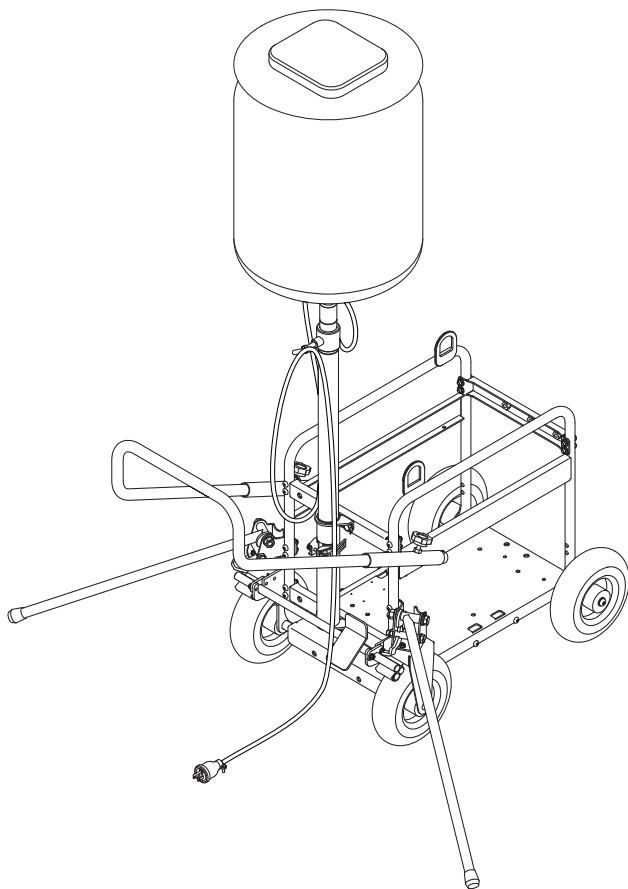


OPERATION MANUAL

取扱説明書

LIGHT BOY

MODEL LB030CC-1



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために、必ず
本取扱説明書をお読みください。
誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。
お読みになった後も必ず製品に近接して保管してください。

ご不明な点についてはライトボーイ販売会社・特販店にお問い合わせください。

MEMO

このたびは
移動式投光機ライトボーイ LB030CC-1 を
お買い上げいただきまして
ありがとうございます

はじめに

- この取扱説明書は、LB030CC-1 の取扱方法と使用上の**注意事項**について記載しています。
ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟読のうえ、正しくお取扱いいただき、**最良の状態**でご使用ください。
- この取扱説明書をお読みになった後は、いつでも使用できるようにお手元に大切に保管してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの**販売店**にご請求ください。
また、ご不明な点やお気づきの点がございましたら、お気軽にライトボーイの**販売会社・特販店**にご相談ください。
- 品質・性能向上あるいは安全上の事情で使用部品の変更をおこなうことがあります。

取扱説明書 名称	LB030CC-1	コード NO.	B-0000394-02
----------	-----------	---------	--------------

■安全に使用していただくために

本製品は、本書に記載した使用方法に従ってお使いいただく限り、お客様に十分満足いただけるものと信じております。

しかし万一、以下に示した注意を守らない場合は、やけど・けが・火災などの重大な損害が発生するおそれがあります。

くれぐれも、以下の諸注意をていねいに読み、十分理解されてからご使用ください。

- 本文中、および本製品に貼付けした警告表示で使用している安全標識とその意味は、つぎのとおりです。



その警告文に従わなかった場合、死亡または重症を負うに至る切迫した危険性を示します。



その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性がある危険性を示します。



その警告文に従わなかった場合、軽傷または中程度の障害を負う可能性がある状況を示します。また物的損害の発生のみが予測される場合も示します。

目 次

◆安全上のご注意.....	4
◆警告表示（ラベル）の貼付位置.....	10
◆各部の名称.....	11
◆組立て方法.....	12
◆基本操作方法.....	14
◇ハンドル操作.....	14
◇駐車ブレーキ操作.....	14
◇転倒防止操作（アウトリガー）操作.....	16
◇マスト操作.....	16
◇発電機搭載後.....	16
◆点灯・消灯.....	17
◆収納方法.....	19
◆各部の交換方法.....	22
◇バルーン布交換.....	22
◇フィルター交換.....	23
◆点検・整備・保管.....	24
◆トラブルの対処方法.....	26
◆主要諸元表.....	31
◆わからないことや、故障したら.....	32

◆安全上のご注意

1. 設置

風の強いときは注意してください

⚠危険 強風時に使用すると投光機が転倒し大事故になるおそれがあります。

- 強風で投光機がゆれるときはマストを下げてください。
- 大きくゆれるときは使用を中止してください。

傾斜地での使用を避けてください

⚠危険 転倒防止のため傾斜地や地盤の軟弱な場所は避けて、しっかりした水平な場所に設置してください。

- 傾斜地とは約 5° 以上をさします。
- 移動防止のため必ず駐車ブレーキをかけてください。また、車輪止めも必ずおこなってください。

転倒防止装置（アウトリガー）を使用してください

⚠危険 転倒防止のため使用時は必ず転倒防止装置（アウトリガー）を使用してください。

⚠危険 設置状況によって転倒の危険が異なります。より安全性を増すために、ロープと枕木による固定をおこなってください。

- 発電機が搭載されていない場合は発電機相当の重しを載せて使用してください。

ノブはしっかりと締めてください

⚠危険 ノブが緩んでいるとランプ部やマストが落下し、けがや破損のおそれがあります。

- 組立時や高さの調節中に手などを挟まないように注意してください。

2. 運搬

確実に固定してください

⚠危険 車で運搬するときは駐車ブレーキをかけるとともにロープ等で固定してください。機器が破損したり、落下、転倒し大事故につながるおそれがあります。

高さに注意してください

⚠危険 マストを伸ばしたままで運搬するとガードなどの障害物に衝突し事故や機械が破損するおそれがあります。

- 車で運搬する時はマストを完全に下げ、収納状態にして運搬してください。

運搬時にバルーンを直接下に置かないでください

⚠注意 ランプ部を荷台等に横置きすると、布が摩擦で切れるおそれがあります。

- 運搬する場合バルーンカバーを使用し、毛布等で保護した後、荷台等で動かないようしっかり固定してください。

強い衝撃にご注意ください

⚠警告 強い衝撃が加わるとランプ寿命が著しく低下したり、破損するおそれがあります。

- 移動、運搬時や積み下ろしなど十分注意してください。

坂道での移動に注意してください

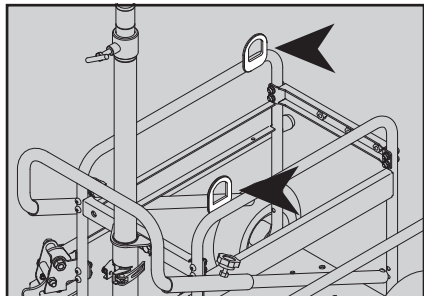
⚠危険 急な坂道での移動は、投光機が暴走したり人がはさまれて大事故につながるおそれがあります。

- ブレーキの開放時、投光機が自重で移動する坂道等では、投光機の動きに注意して力の加減をおこなってください。また、投光機が暴走するような急な坂道での移動は、人の力で移動せず、車で設置場所まで運搬してください。

指定の吊り上げ個所を使用してください

- 吊り上げ時はベルトを使用し、投光機本体が水平に近くなるよう、バランスの取れる位置で吊り上げてください。

⚠危険 落下したり、けがをす
るおそれがあります。
吊り下げ時は収納状態
でおこない、指定の吊
り下げ個所以外で吊り
下げないでください。



◎クレーン以外での吊り下げはしないでください。

トラックなどへの積降時はご注意ください

- 積降作業は平坦な場所でおこなってください。



危険

傾斜地などバランスのとりにくい場所での積降作業は投光機が落下し破損したりけがををするおそれがあります。



危険

ブレーキ解除時は自重で投光機が移動して落下し破損したりけがををするおそれがあります。駐車ブレーキをかけ、必ず車輪止めも使用し、投光機の動きに注意して作業してください。

3. バルーン

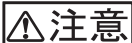
ランプ点灯中はバルーンに触れないでください

- 点灯中にバルーンを押ししたり叩いたりしないでください。また、ファスナーを開いてランプに触れたりしないでください。
- バルーンは布製です。バルーンに火を近づけたり、鋭利な道具で刺したりしないでください。



警告

火気を近づけると破れて使用できなくなります。バルーン布が破れた状態で使用すると、バルーンが十分に膨らまないうえ、異物の侵入や水分の付着等がおこり、ランプが点灯しない場合があります。



注意

バルーン布は消耗品です。日照下での放置、風雨など、状況により劣化が早まる場合があります。

- 使用前や使用中は、ファスナーが完全に閉じていることを確認してください。
- 未使用時は泥や汚れを落とし、カバーをかけて保管してください。

4. マスト昇降操作

マスト昇降時に注意してください



危険

マスト上昇時、電線に注意してください。接触すると感電するおそれがあります。





警告

マスト昇降時には、マストに指等を挟まれないように注意しておこなってください。



注意

マスト上昇時、頭上に何も無いことを確認してください。接触すると機器や接触物が破損するおそれがあります。

5. 発電機

出力に余裕のある発電機を使用してください

- 始動時電流に対して余裕がないと発電機の寿命が短くなるとともに、ランプの消灯または点滅の原因になります。

発電機の取扱注意事項を守ってください

- 詳細はお手持ちの発電機の取扱説明書を参照してください。

6. 点灯時

感電、漏電に注意してください



危険

投光機や操作者がぬれた状態で操作すると、漏電等の故障になるばかりではなく、操作の際に感電するおそれがあります。



- 投光機は防水型ではありません。雨や雪の中、水しぶきのかかるような場所で使用したり、水たまり等に浸水させて操作しないでください。

電源プラグを差したままで発電機の始動・停止をしないでください



注意

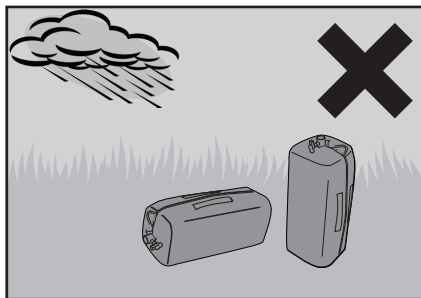
電源プラグを差したままエンジンを始動・停止すると発電機が破損する場合があります。

- 始動直後および停止時の発電機は状態が不安定となりますので、発電機が安定してから電源プラグを差してください。また、必ず電源プラグを抜いてからエンジンを停止してください。

7. 保管

高温、多湿を避けて保管してください

- バルーン布は消耗品です。使用環境や保管状況などにより劣化が早まる場合があります。未使用時は泥や汚れを落とし、バルーン部はバルーンカバーを使用して保管してください。
- 保管前には必ず汚れなどを落とし、金属部分に注油・グリスアップをおこなってください。
- 保管は、できるだけ室内で行ってください。
- やむを得ず屋外で保管する場合は、防水シートで覆い雨や雪にさらされないようにしてください。
- バルーン部をマストから外して保管する場合は、水漏れ等を防ぐために直接地面に置かないでください。
- ファンの空気吸込口を上にして屋外に保管しないでください。



8. その他

電源プラグや端子部に注意してください

⚠ 危険

作動中は電源プラグや端子部に触れないでください。感電のおそれがあります。



点検・整備をおこなってください

- 使用前、使用后や長期保管前には泥や汚れを落とし、注油・グリスアップなど必ず点検・整備をおこなってください。
- 金属同士が擦れ合う部分には、定期的に注油・グリスアップをおこなってください。

⚠ 注意

マストのメンテナンスにはグリスをご使用ください。浸透潤滑剤、パーツクリーナーはマストの動きが悪くなる恐れがあります。

周囲温度に注意してください

- 周囲温度 -10°C ～ 40°C の場所で使用してください。



注意

温度が 40°C 以上で使用すると自動で調光、又は消灯します。

基本を守ってください

- 飲酒時に取扱わないでください。
- 過労や睡眠不足などで体調が悪いときは取扱わないでください。
- だぶだぶの服、装飾品など機械部品にひっかかる可能性のあるもの、また油などの付着した作業着は引火しやすいので着用したまま取扱わないでください。
- けが防止のため服装は常にきちんとし、靴はすべり止めのついたものを着用してください。
- 改造しないでください。
- 操作時にはまわりをよく見て安全を確認してください。

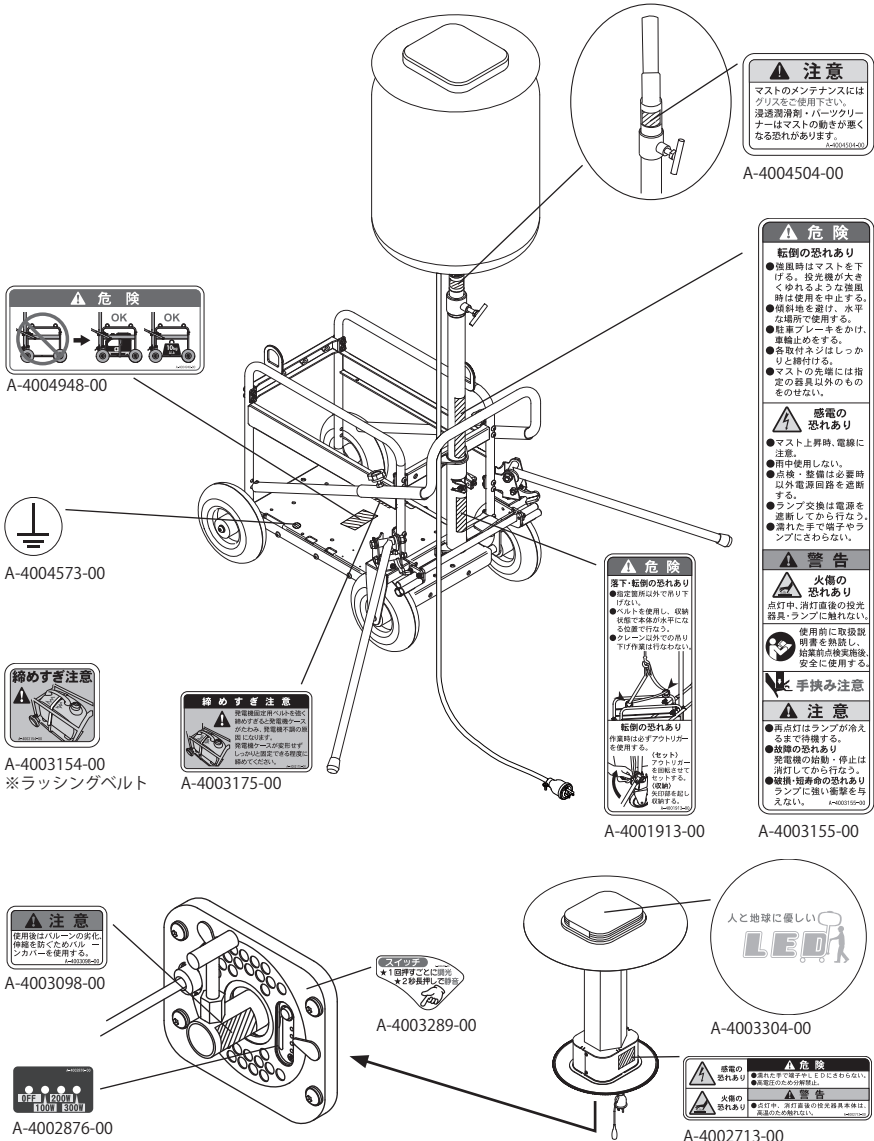
◆警告表示（ラベル）の貼付位置

警告

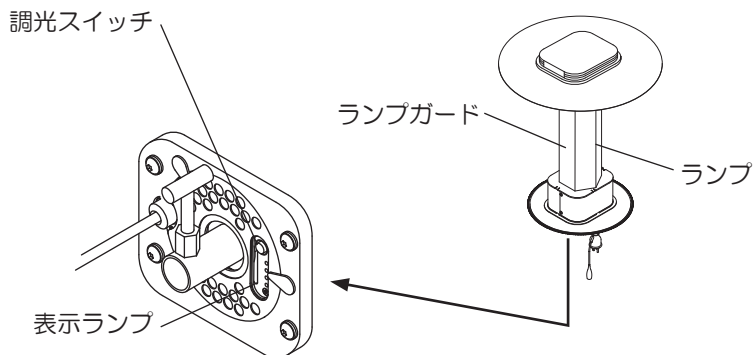
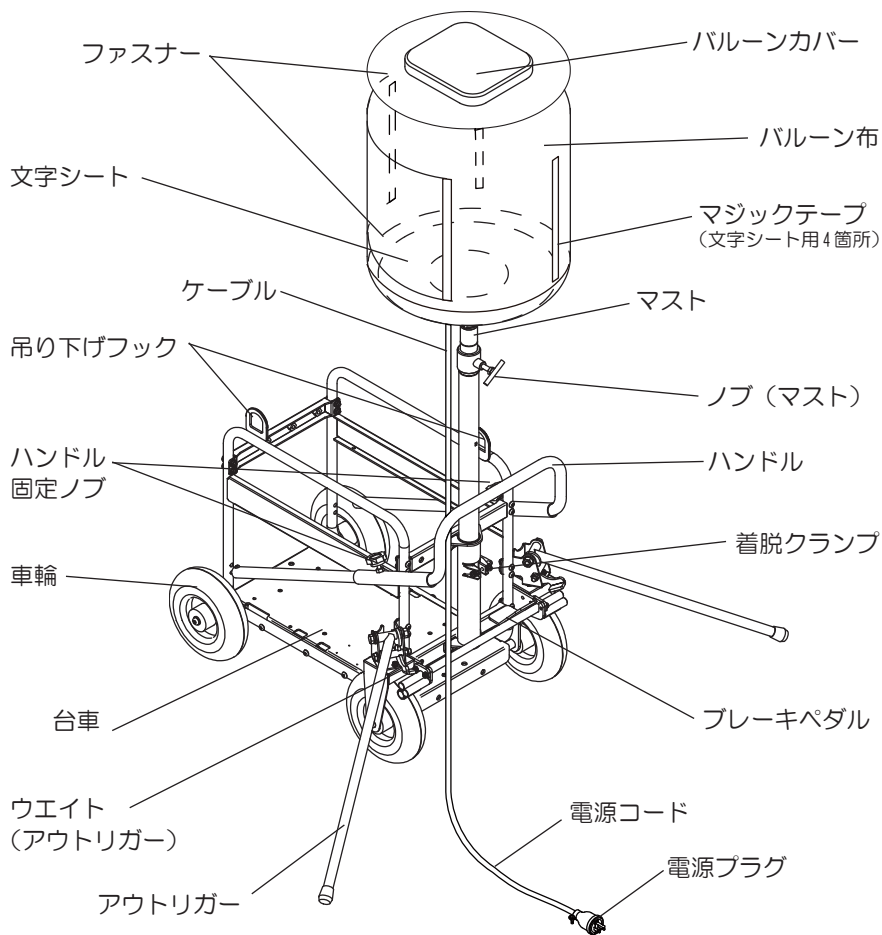
安全に作業していただくために、警告表示（ラベル）の貼付位置を示したものです。

ラベルは常に、汚れや破損のないように保ち、万一破損・紛失した場合は新しいものに貼直してください。

ラベルはお近くの販売会社、特販店にお申しつけください。



◆各部の名称

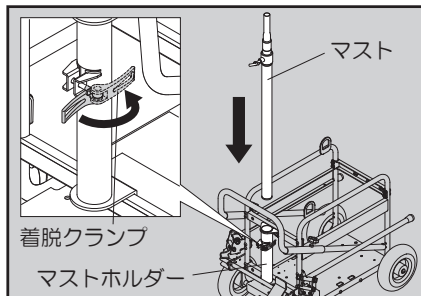


◆組立て方法

1. マストをマストホルダーに差込み、着脱クランプでロックします。

⚠危険

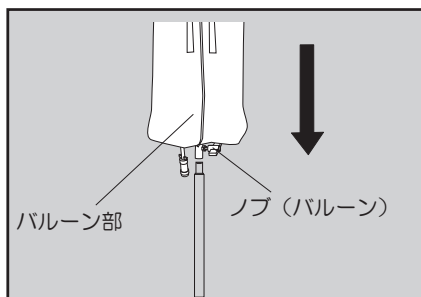
着脱クランプの締付けを必ずおこなってください。ゆるんでいますと機器脱落し、けがをしたり破損するおそれがあります。



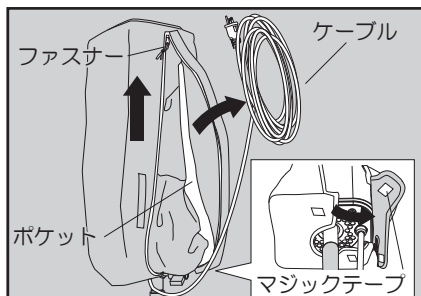
2. マストにバルーンを垂直に差し込みノブ（バルーン）を締めます。

⚠危険

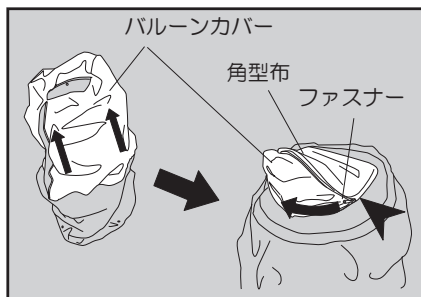
バルーンはしっかりと固定してください。ノブがゆるんでいますとバルーン部が抜け落ち、けがをするおそれがあります。



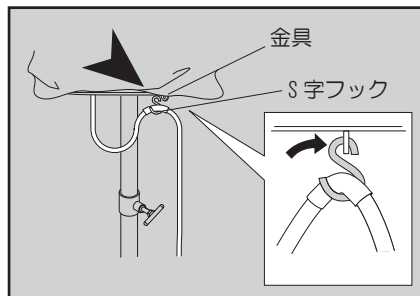
3. バルーンカバーのマジックテープを外し、ファスナーを開けてカバー内部のポケットからケーブルを取り出します。



4. カバーをまくり上げ、角型布の中に収めファスナーを閉じます。



5. S字フックをバルーン部にある金具に引っ掛けます。



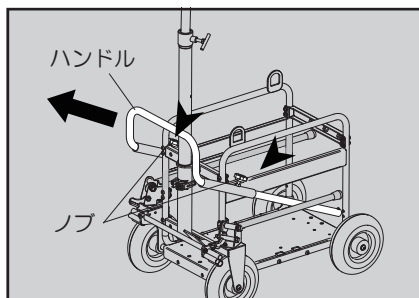
6. 駐車ブレーキをかけ、アウトリガーを設置します。

◎駐車ブレーキの操作方法、アウトリガーの設置方法は、別項「◆基本操作方法」を参照してください。

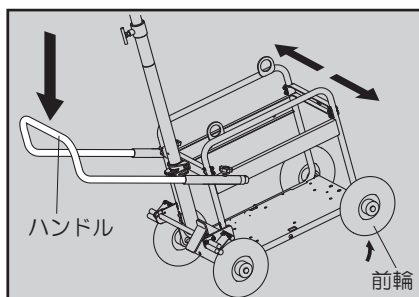
◆基本操作方法

ハンドル操作

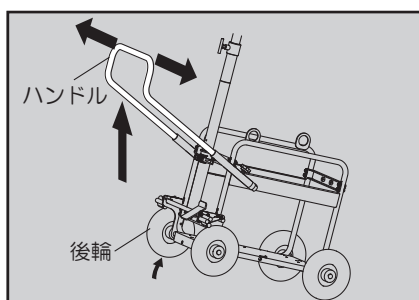
- ハンドル左右のノブをゆるめ、ハンドルを手前に引き出しノブを締め付けます。



- ハンドルを下に押しして前輪を浮かせ、左右に方向転換します。



- ハンドルを持ち上げて後輪を浮かせ、左右に方向転換します。



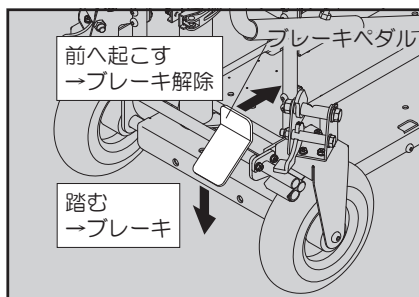
駐車ブレーキ操作

- ブレーキバーを下げるとブレーキがかかり、上げると解除されます。



危険

駐車時や使用時はブレーキでのロック以外に車輪止めも必ずおこなってください。



転倒防止操作（アウトリガー）

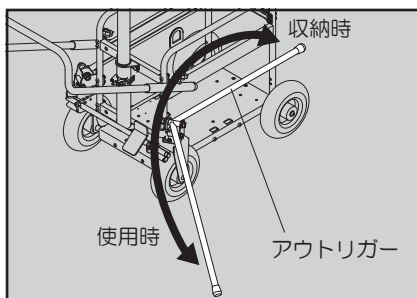


危険

投光機が転倒し、けが・破損のおそれがあります。作業時は、必ずアウトリガーを使用してください。また、安全性を増すためにロープや枕木による固定をおこなってください。

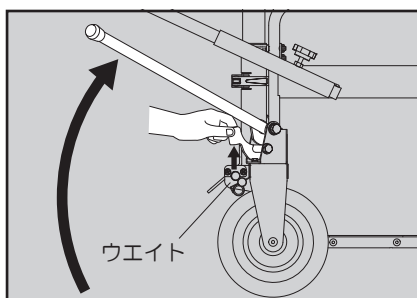
■設置

- 台車側面に収納してあるアウトリガーを回転させてセットします。アウトリガーは自動でロックします。



■収納

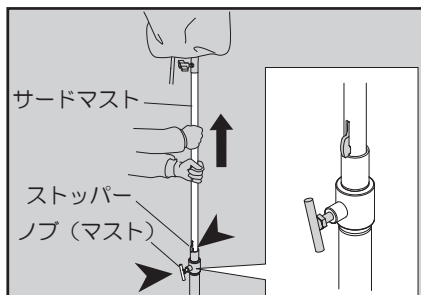
- ウエイトを起こし、アウトリガーを回して台車に収納してください。



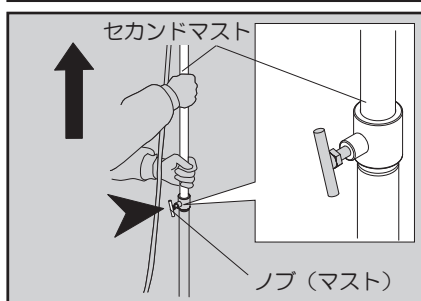
マスト操作

■高さを変えるには


1. マストのノブを締め、サードマストをストッパーがかかるまで上方に引き出します。




2. ノブ (マスト) をゆるめ、セカンドマストを持ちながら上方へ引き上げ、任意の高さでノブ (マスト) を締めます。



⚠ 危険 マスト上昇時、電線に注意してください。接触すると感電するおそれがあります。



⚠ 警告 マスト昇降時には、マストに指等を挟まれないように注意しておこなってください。

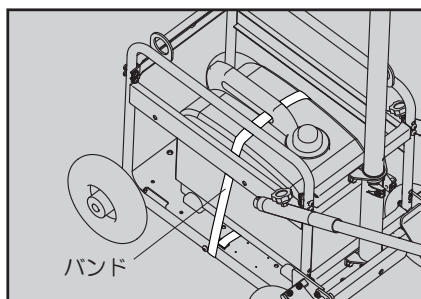


⚠ 注意 マスト上昇時、頭上に何も無いことを確認してください。接触すると機器や接触物が破損するおそれがあります。

発電機搭載後

- 台車に付属しているバンドで発電機を固定してください。

⚠ 危険 発電機を搭載しない場合は 10 kg 相当のおもり (水の入った 10L ポリタンク等) を搭載し、バンドで固定してご使用ください。投光機が転倒し、けが・破損のおそれがあります。



◆点灯・消灯

点灯・消灯

■点灯

<発電機使用時>

◎発電機に投光機以外の電気器具が接続されている場合は投光機分の電気容量が確保できるようにしてください。

◎発電機のオイル、バッテリー液、燃料を確認します。

◎発電機のメインスイッチが（OFF）になっていることを確認します。

●発電機を始動します。

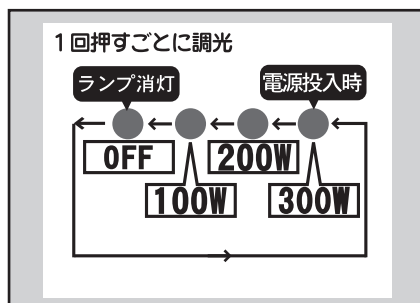
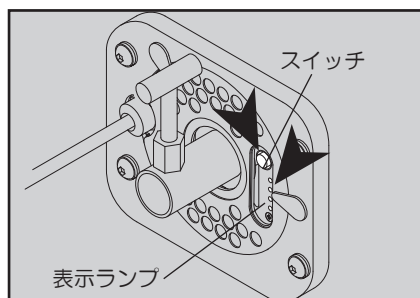
（始動要領についてはお手持ちの発電機の取扱説明書をご確認ください。）

●発電機が安定したら電源プラグをコンセントに差し込みます。

●発電機のメインスイッチを（ON）にします。

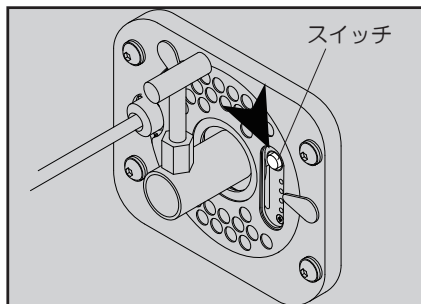
<調光モード使用時>

- スイッチを押すごとに調光できます。電源投入時は300Wで点灯します。スイッチを押す毎に右図のように切り替わっていきます。パネルのLEDが赤色に点灯して調光モードを表示します。



<静音モード>

- 投光機が使用時に発する音が気になる場合に使用してください。スイッチを3秒以上長押しすると静音モードに切り替わります。



◎通常モード時はスイッチ中央の青色LEDが点灯します。

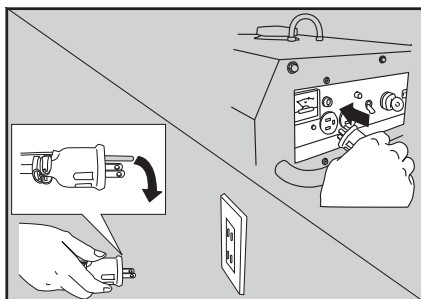
◎静音モード時はスイッチ中央の青色LEDが点滅します。

- 静音モード時も通常時と同じように調光可能です。
- 静音モード時にスイッチを3秒以上長押しすると通常モードに切り替わります。

◎静音モード時で消灯しても、再点灯時は通常モードで点灯します。

<2Pコンセント使用時>

- プラグのアース端子をたたんで2Pプラグにし、コンセントに差し込みます。



■消灯

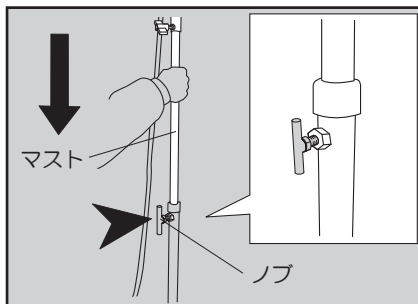
- 発電機のメインスイッチを（OFF）にします。
- 発電機を停止します。

◆収納方法

1. ノブをゆるめて手を添えながらマストを下げ、ノブを締めます。

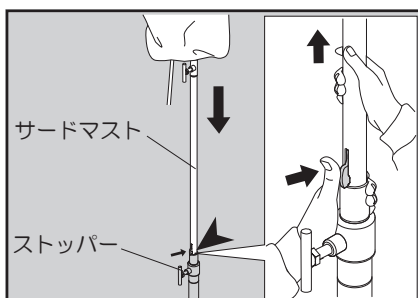
警告

伸縮作業時、マストに手をはさまないように注意してください。

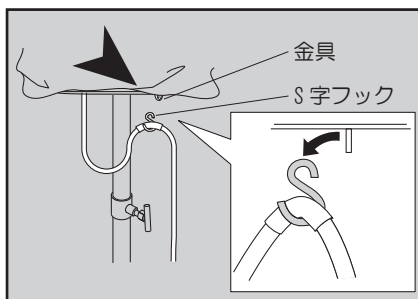


2. サードマストを片手で上方に持ち上げながらストッパーを押し、マストを下げます。

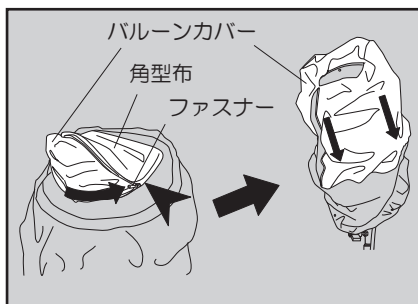
◎マストはゆっくりと下がる構造になっています。



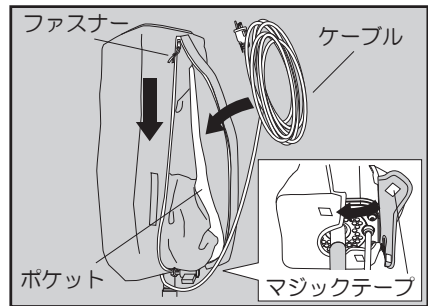
3. ランプケーブルのプラグを外し、S字フックをバルーン部にある金具から外します。



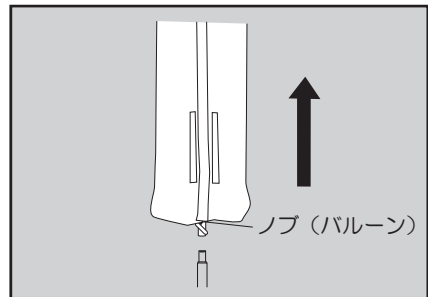
4. バルーン上部の角型布のファスナーを開き、中に入っているカバーをバルーンにかぶせます。



5. ケーブルをまとめてカバー内部のポケットに収め、ファスナーを開けてマジックテープをはめ合わせます。



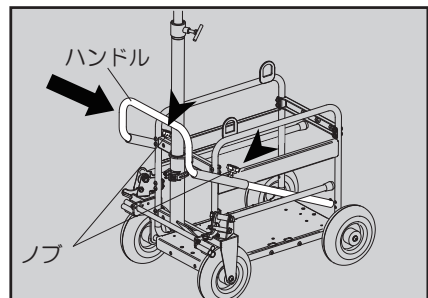
6. ノブ（バルーン）をゆるめてバルーンを垂直に取り外します。



以下は必要に応じておこなってください

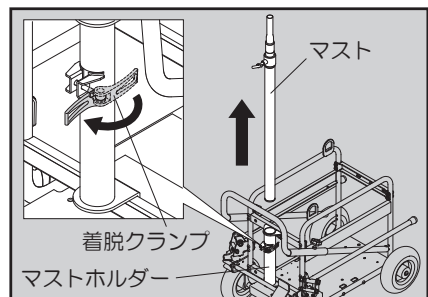
■ハンドルの収納

- ハンドル左右のノブをゆるめ、ハンドルを押し込みノブを締め付けます。



■マストの取外し

1. 着脱レバーを解除し、マストをマストホルダーより引き抜きます。



MEMO

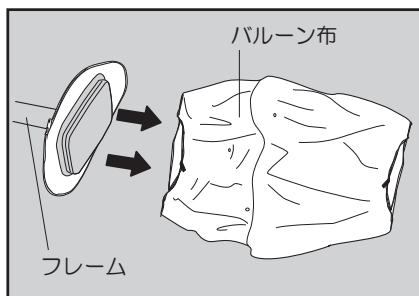
◆各部の交換方法

バルーン布交換

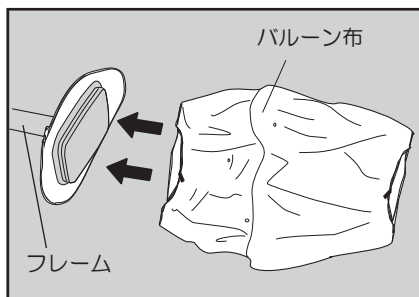
1. バルーン布上下部のファスナーを開きます。



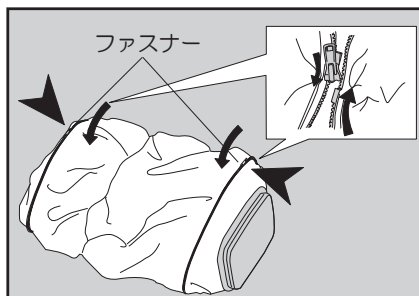
2. バルーン布をフレームから取り外します。



3. 新しいバルーン布をフレームにかぶせます。

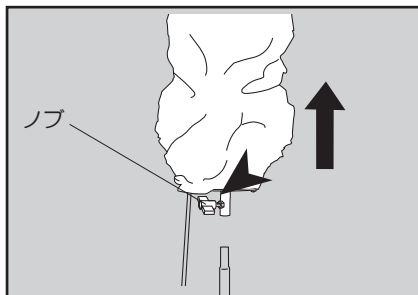


4. バルーン布の上下のファスナーをそれぞれフレームに付いたファスナーにはめ合わせて閉じます。

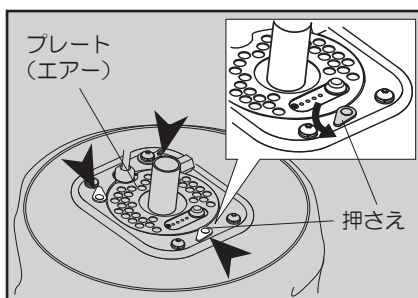


フィルター交換

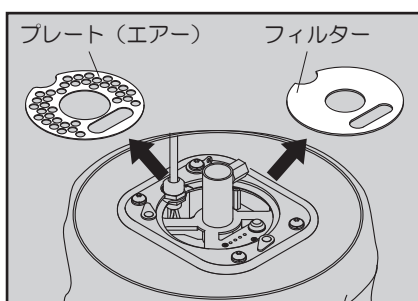
1. ノブをゆるめてバルーンを両手で垂直に持ち上げて取り外します。



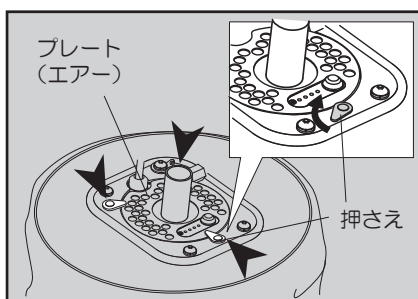
2. フィルター側が上にくるように外したバルーン部を置き、プレート（エアー）の3箇所の押さえをスライドさせます。



3. プレート（エアー）を外して、フィルターを交換します。



4. 交換したフィルターの上にプレート（エアー）をはめ込み、押さえを戻して固定します。



◆点検・整備・保管

■点検・整備

下表中図欄の記号と次ページの記号を参照して点検・整備をおこなってください。

図	箇所	確認内容	対策		
ランプ (ラ)	1	ランプガード	汚れたり壊れたりしていないか	要清掃 / 要交換	△
	2	LED ランプ	変色したり、きれたり、破損したりしていないか	要交換	◎
バルーン (バ)	1	バルーン布	汚れたり破れていないか	要交換	◎
	2	ファスナー	外れたり、壊れていないか	要交換	◎
	3	ファンモータ	作動は正常か	要修理	●
	4	ノブ	破損していないか	要交換	◎
マスト (マ)	1	マスト	曲がったり、破損したりしていないか	要交換	○
	2	ノブ	破損していないか	要交換	○
	3	着脱クランプ	破損していないか	要交換	◎
台車 (台)	1	アウトリガー	曲がったり、破損したりしていないか	要交換	●
			スムーズに動くか	グリス吹付	◎
	2	ウエイト	スムーズに動くか	グリス吹付	◎
	3	タイヤ	パンクやヒビが入っていないか	要交換	◎
			空気圧は245kPa (2.5kgf/cm ²)か	要調整	◎
	4	ハンドル	曲がったり、破損したりしていないか	要交換	●
5	フレーム	曲がったり、破損したりしていないか	要交換	●	
		効きはよいか・破損していないか	要修理	◎	
6	ブレーキ	スムーズに動くか	グリス吹付	◎	
電装 (電)	1	ケーブル	線が剥き出しになっていないか	要交換	◎
	2	電源プラグ	破損していないか	要交換	○

◎…始業前点検 ○…20時間毎 ●…100時間毎 △…500時間毎
(時間は目安です。始業前点検は各点検毎におこなってください。)
(発電機に関しては別冊の発電機取扱説明書をお読みください)



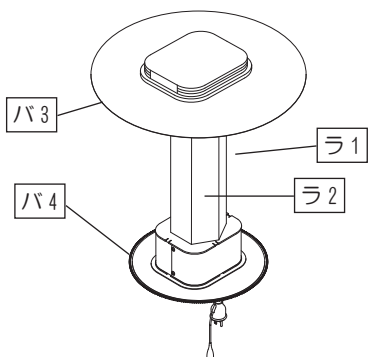
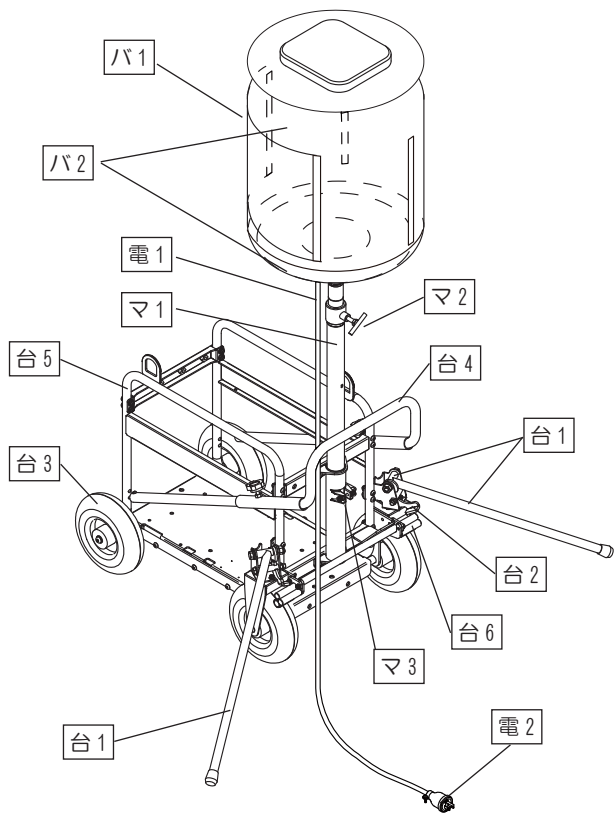
警告

発電機作動中に電源プラグを差し込んだまま電気系統を点検・整備すると誤ってショートするおそれがあります。点検・整備前に必ず電源プラグを抜いておこなってください。



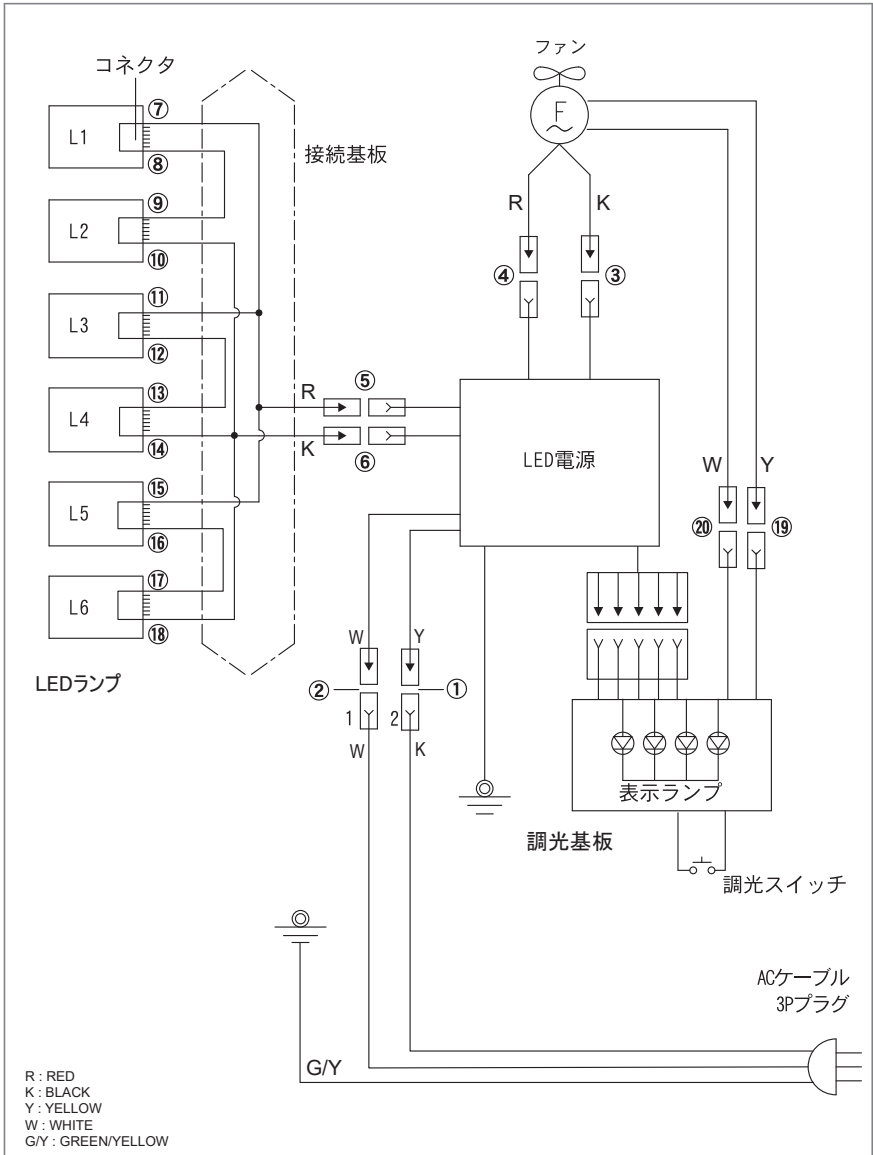
■保管の方法

- ランプが冷えているのを確認してから点検、収納してください。
- 泥や汚れを落とし、金属部分に注油・グリスアップをおこなってください。
- 雨ざらしや湿度の高いところを避けて保管してください。
- マストのメンテナンスにはグリスをご使用ください。浸透潤滑剤、パーツクリーナーはマストの動きが悪くなる恐れがあります。



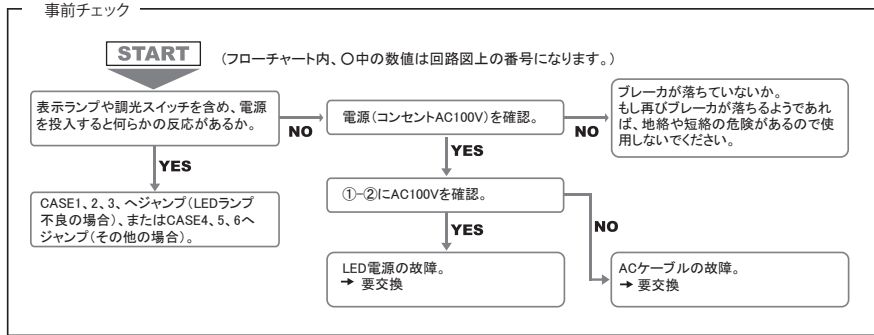
◆トラブルの対処方法

1. 回路図



2. ランプの点灯障害

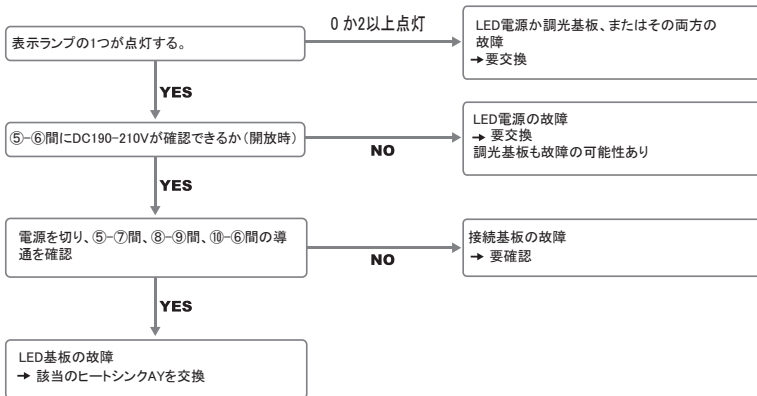
◎他の機器を使用していない電源でテストを行ってください。



ランプが点灯しない等

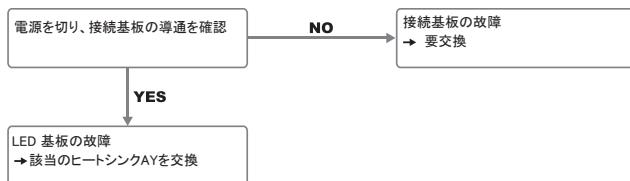
CASE1

LEDが全く点灯しない。



CASE2

LED基板が1面以上、面全体が点灯しない



CASE3

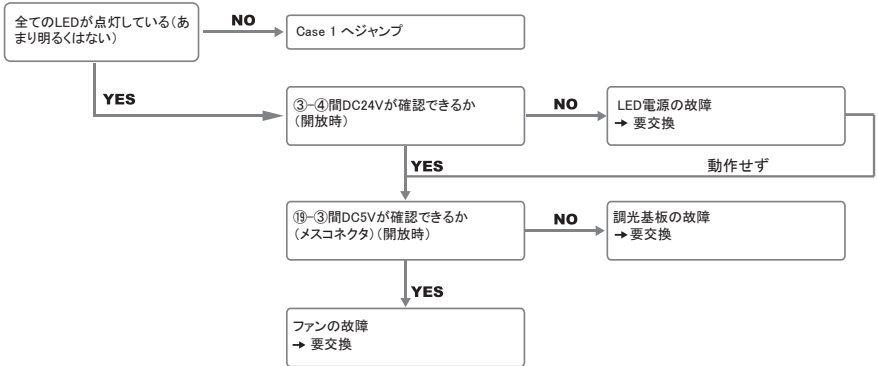
LEDが1～数粒点灯しない

LEDチップの故障
→ 該当のヒートシンクAYを交換

ファンの動作障害

CASE4

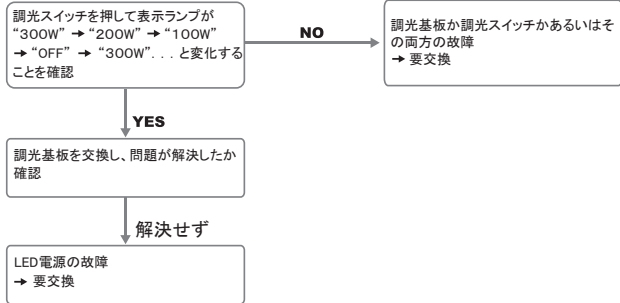
ファンが動かない



調光機能の故障

CASE5

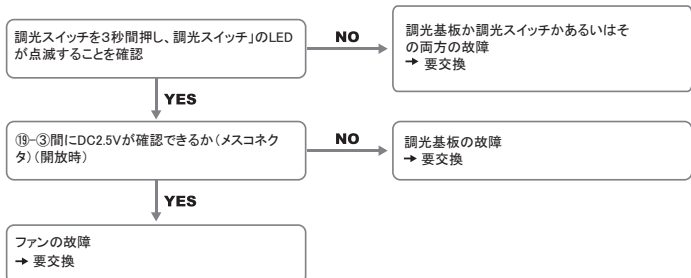
調光スイッチがきかない



静音機能の障害

CASE6

静音モードにならない



3. バルーンのエアー不足

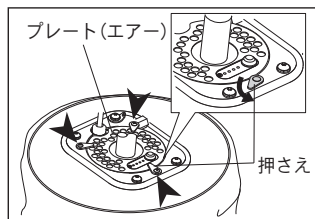
◎ファンが正常に回っていることを確認してください。

バルーンが十分に膨らまない

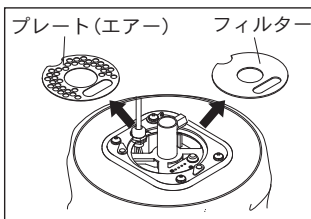
- | | | | |
|---|--------------|---|--------------------|
| 1 | ファスナーが開いている | → | ファスナーを完全に閉める |
| 2 | 布が破れている | → | 布の補修または交換 |
| 3 | フィルターが詰まっている | → | フィルターの清掃または交換 |
| 4 | 静音モードになっている | → | スイッチを長押しして通常モードにする |

フィルター清掃方法

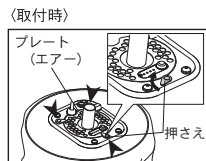
■フィルターの取り外し



フィルター側が上にくるようにバルーン部を置き、プレート(エアー)の3つの押さえをスライドさせます。



プレート(エアー)を外して、フィルターを取り外します。



取外し時の逆順で取付けてください。

■簡易清掃

●手ではたく



●掃除機で吸い取る



■洗浄

- 洗剤を使用する場合は**中性洗剤**を使用してください。
- 洗濯機に入れる場合は、**洗濯ネット**などに入れてください。
- 洗浄後、**充分に乾かして**から取り付けてください。
→水分を含んだままですと、吸入が不十分になります(冬季は凍結する場合があります)。

タール等が固着している場合は交換してください。
(部品No.A-4002738-00 フィルタ)

4. その他

ランプが点灯しない

確認場所	対 策
電源プラグが確実に差し込まれているか？	電源プラグを差し直す。
発電機メインスイッチが（ON）になっているか？	スイッチを（ON）にする。
結線部が外れているところはないか？	該当箇所を修正する。
発電機に投光機以外の電気器具を接続していないか？	他の機器の接続を外す。
発電機の電圧は正常か？（無負荷時100～106V）	電圧を適正にする。

◆主要諸元表

型 式		LB030CC-1	
投 光 機	電 圧 (V)	AC100	
	周波数 (Hz)	50/60	
	電 流 (A)	3.3	
	ラ ン プ	種 類	LED
		調光 (W)	300/200/100
		全光束 (lm) [※]	40,000 (300W)
			30,000 (200W)
			16,000 (100W)
	使用可能周囲温度 (°C)	-10~40	
	マ ス ト	マスト形式	伸縮式 3 段 (エアブレーキ付)
		マスト操作	手動伸縮
	台 車	タイヤ	外径 220mm 空気入りタイヤ (2.50-4)
		タイヤ空気圧 (kPa)	245 (2.5kgf/cm ²)
		ブレーキ	足踏み式駐車ブレーキ
寸 法	作業時 (L×W×H) (mm)	1195×1470×1745~3075	
	収納時 (L×W×H) (mm)	825×550×1745	
質 量	灯部 (kg)	9	
	マスト (kg)	2.2	
	台車 (kg)	33.4	
	総質量 (kg)	44.6	
推奨発電機		出力 0.35kVA 以上	

※表記数値は最大値。LED 素子には製造工程でのばらつきがあり、製品ごとに明るさ、光色が異なる場合があります。

- 仕様は改良などにより予告なしに変更することがあります。
- 文中の図と現品が異なる場合があります。

◆わからないことや、故障したら

本機についてわからないことや、故障が生じたときはつぎのことをメモし、お近くの販売会社、特販店にお問い合わせください。

●ご使用機の型式名と製造番号（ネームプレートに記載）

LB03000-1 - 000000

●ご使用環境

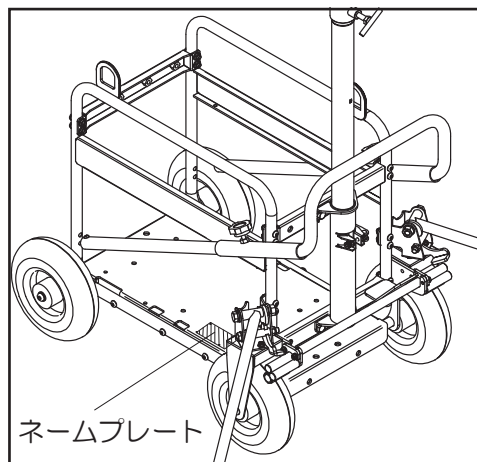
どんな環境で

●どれくらい使用されましたか

約〇〇時間（発電機のアワーメーターなどでご確認ください）

●故障したときの状況をくわしくご説明ください

くわしい状況を



安全確認説明事項

型式名	製造番号 No.
-----	-------------

下記の販売説明者から、この製品の安全な取扱いと操作方法について説明を受けました。

説明内容および確認事項	確認 <input checked="" type="checkbox"/>	説明内容および確認事項	確認 <input checked="" type="checkbox"/>
取扱説明書の受領	<input type="checkbox"/>	各部の操作方法	<input type="checkbox"/>
安全上の注意の説明	<input type="checkbox"/>	点検・整備方法	<input type="checkbox"/>
警告表示の内容と貼付位置説明	<input type="checkbox"/>	故障したときの処置・連絡	<input type="checkbox"/>
使用準備方法	<input type="checkbox"/>	保証書・保障事項について	<input type="checkbox"/>

説 明 日	令和 年 月 日
納 入 日	令和 年 月 日

お 客 様	住 所	〒□□□-□□□□
	会 社 名	Ⓜ ()
	名 前	Ⓜ
販 売 店	住 所	〒□□□-□□□□
	店 名	Ⓜ ()
	納入説明者氏名	Ⓜ



株式会社ライトボーイ

〒183-0025

東京都府中市矢崎町1-39-1

電話 (042)319-2138 FAX(042)319-2198

<https://www.light-boy.com>

